

畜産草地研究所の組織

研究所長	—
— 草地研究監 (那須)	—
— 企画管理部	—
— 放牧研究調整監 (御代田)	—
— 飼料作物研究領域 (那須)	—
— 草地管理研究領域 (那須・御代田)	—
— 家畜飼養技術研究領域 (那須)	—
— 家畜育種繁殖研究領域 (つくば)	—
— 家畜生理栄養研究領域 (つくば)	—
— 畜産環境研究領域 (つくば)	—
— 畜産物研究領域 (つくば)	—
— 畜産研究支援センター (つくば)	—
— 草地研究支援センター (那須・御代田)	—

職員数	人	飼養動物	頭数
所長	1	乳牛	150
研究職	136	肉牛	317
一般職	44	豚	355
技術専門職	75	鶏	4,181
非常勤職員	150	ウズラ	1,903
		山羊	121
		めん羊	55

面積	m ²
つくば	938,669
那須	2,223,854
御代田	673,753

国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構

畜産草地研究所

NARO Institute of Livestock and Grassland Science (NILGS)

畜産草地研究所の役割と研究の方向



畜産草地研究所では、良質で安全な畜産物を生産し、豊かな食生活に貢献する役割を果たすため、次の4つの重点研究分野を定めて、草地・飼料作物の生産から家畜生産および家畜排せつ物の処理・利用まで、畜産に関する研究を一体的、総合的に推進しています。

所在地

つくば	那須	御代田
〒305-0901	〒329-2793	〒389-0201
茨城県つくば市池の台2	栃木県那須塩原市千本松768	長野県北佐久郡御代田町大字
Tel 029-838-8600 (代表)	Tel 0287-36-0111 (代表)	塩野 375-716
Fax 029-838-8606	Fax 0287-36-6629	Tel 0267-32-2356 (代表)
		Fax 0267-32-2318

お問い合わせ先

お問い合わせは、当所ホームページからお願いします。
<http://www.naro.affrc.go.jp/nilgs/> または「畜産草地研究所」で検索

情報広報課 Tel 029-838-8611, Fax 029-838-8628
 産学官連携センター Tel 029-838-8684, Fax 029-838-8606

- ▶ 国産飼料に基づく持続的な家畜生産システムの開発
- ▶ 環境保全型畜産の確立に向けた技術の開発と体系化
- ▶ 高品質な畜産物の開発
- ▶ 次世代の畜産を先導する革新的生産技術の開発

研究を通じて、より良い飼料、より良い家畜、より良い畜産物を生産し提供する。そして、より環境に優しい畜産システムを作り上げることが畜産草地研究所の使命です。

—— 現在そして将来の畜産に役立つ研究・技術開発を進めることにより、人々の食生活と健康を守り、畜産業の発展を通じてわが国の国土と文化を守ることに貢献します。——

飼料作物研究領域 (那須)

Forage Crop Research Division

- 環境ストレス耐性が高く収量も多いトウモロコシ、牧草等の品種を育成します。
- 飼料作物の収量や品質の向上、省力化や省資源化を実現する栽培管理技術を開発します。



草地管理研究領域 (那須・御代田)

Grassland Management Research Division

- 公共牧場の活性化につながる効率的な放牧育成技術を開発します。
- 耕作放棄地の有効利用につながる草地利用技術を開発します。
- 物質循環機能に基づく草地の保全管理技術を開発します。
- 草地における放射性セシウム対策技術を開発します。



耕作放棄地を活用した放牧

家畜飼養技術研究領域 (那須)

Animal Feeding and Management Research Division

- 水田、飼料畑を有効に活用する資源循環型畜産技術を開発します。
- 飼料自給率の向上に向けて、米やイネ、食品残さなどを飼料として有効に利用し、広く流通させる技術を開発します。



堆肥からアンモニアを効率的に回収できる吸引通気式堆肥化施設

家畜育種繁殖研究領域 (つくば)

Animal Breeding and Reproduction Research Division



遺伝的に優れた家畜作出モデルの開発

- 家畜の生産性を向上させるため、家畜の強健性や繁殖性を改善する技術を開発します。
- 家畜の生産効率の向上をめざした繁殖技術の開発とその高度化に関する研究を行います。

個別培養による発生能の高い体外受精胚の選抜

家畜生理栄養研究領域 (つくば)

Animal Physiology and Nutrition Research Division

- 家畜の栄養素配分調節機構を解明し、効率的・持続的な乳肉生産技術を開発します。
- 食品残さや農産副産物等の飼料利用を進めるとともに、健康な家畜生産のための飼養技術を開発します。
- 栄養素による遺伝子発現の調節機構を解明し、高品質畜肉生産技術として活用します。
- 飼料の適切な給与のための基本情報である飼養標準、飼料成分表を作成します。



子豚への発酵リキッド飼料の給与



炭素繊維担体を利用した温室効果ガス抑制型養豚廃水処理装置

畜産環境研究領域 (つくば)

Animal Waste Management and Environment Research Division

- 家畜生産における悪臭・水質汚濁等の環境対策技術と資源回収に関する研究を行います。
- 石油などの化石資源に依存しないエネルギー自給型家畜飼養管理技術を開発します。
- 地球温暖化等の気象変動に対処するための技術を開発します。

畜産物研究領域 (つくば)

Animal Products Research Division

- 牛乳・乳製品や食肉など畜産物のおいしさや加工特性等の品質評価・向上技術の開発に取り組みます。
- 畜産物や乳酸菌の機能性を解明し、新しい食品素材を開発します。



機能性成分 GABA を含むチーズ



老化抑制作用があるプロバイオティック乳酸菌H61株を投与したマウス(上)